

明日の劇場へ

into

[イントウ]

兵庫県立ピッコロ劇団後援会
ピッコロサポートクラブ機関誌

2025.1

vol. 88

神戸わが街



Contents

兵庫県立ピッコロ劇団第81回公演
ピッコロシアタープロデュース

「神戸わが街」

1

兵庫県立ピッコロ劇団
オフシアター Vol.41

「ダウトー疑いをめぐる寓話」

6

兵庫県立ピッコロ劇団第82回公演

「新天地へ～ある移民の物語～」

8

ピッコロサポートクラブ

11

ピッコロシアター催物/学校/資料室

12

劇団員あれこれ

14

シリーズ探訪52

「新たな探訪」

20

兵庫県立ピッコロ劇団第81回公演
ピッコロシアタープロデュース

「神戸わが街」



ピッコロシアター／兵庫県立ピッコロ劇団
〒661-0012 尼崎市南塚口町3丁目17番8号
Tel:06 (6426) 1940 Fax:06 (6426) 1943

<https://piccolo-theater.jp>

兵庫県立ピッコロ劇団設立 30 周年記念 阪神・淡路大震災 30 年
 兵庫県立ピッコロ劇団第 81 回公演 ピッコロシアタープロデュース

神戸わが街

ソートン・ワイルダー作「わが町」より
 潤色=別役 実・ピッコロ劇団
 演出=吉村祐樹 (ピッコロ劇団)

ずっと昔も、今も、これからも
 街が姿を変えたとしても
 わたしたちの営みは続くー

日 時	2025 年	料 金	全席指定 (税込)
	2月 21 日 (金) 19 時		一般 4,500 円
	22 日 (土) 11 時★ / 16 時★		大学生・専門学校生 3,000 円
	23 日 (日・祝) 11 時 / 16 時		高校生以下 2,500 円
	*開場は開演の 30 分前 ★音声ガイドサービスあり (要申込)		※未就学児のご入場はご遠慮ください。
会 場	兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール		〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22 阪急西宮北口駅南改札口すぐ / JR 西宮駅より徒歩 15 分 (阪急バス 7 分)

チケット取扱い▶

■ピッコロ劇団

- ピッコロシアター窓口 / 電話 06-6426-8088 (9:00 ~ 21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)
- メール gekidan-p@hyogo-arts.or.jp (件名を「神戸わが街」としてください)
- 記入事項 ①予約者氏名 ②電話番号 ③観劇日時 ④券の種類・枚数
- *3営業日以内に返信がない場合はお問い合わせください。
- *ピッコロサポートクラブ会員は会員種別により招待または割引 (ピッコロ劇団のみで取り扱い)

■芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00 ~ 17:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)

- https://www.gcenter-hyogo.jp
- *インターネットでのチケットのご購入には、先行予約会員 (無料) への登録が必要です。

■その他のプレイガイド

- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp>
- ・ローソンチケット <https://l-tike.com>
- ・e+ (イープラス) <https://eplus.jp>
- *インターネットのみで販売。取扱いは各プレイガイドにお問合せください。

NEW! 2025年 共学化・大学名称変更 園田学園大学

- ☆経営学部 ビジネス学科 (共学)
- ☆こども学部 こども学科 (共学)
- ☆人間健康学部 (女子のみ)

総合健康学科 / 人間看護学科 / 食マネジメント学科



〈附属・併設学校〉

- ・園田学園高等学校 ・園田学園中学校
- ・園田学園大学附属園田学園幼稚園
- ・園田学園大学附属学が丘幼稚園 (神戸)



SONODA 学校法人園田学園

〒661-0012
 兵庫県尼崎市南塚口町1-24-16
 TEL : 06-6427-7848
 FAX : 06-6427-7250
<https://www.sonoda-u.ac.jp>

ワイルダーの不朽の名作『わが町』。阪神・淡路大震災から10年に際して、日本を代表する劇作家でピッコロ劇団前代表の別役実が、その舞台を神戸にうつし、『神戸 わが街』をピッコロ劇団に書き下ろしました。

生活や人生の尊さを描いた本作を、震災から30年のいま、兵庫・大阪で活躍する俳優陣、合唱メンバーとともに、吉村祐樹の演出で新たに立ち上げます。



©Haruki Shimokoshi

潤色：別役 実

1937年満州新京特別市生まれ。

早稲田大学在学中に、鈴木忠志らと新劇団自由舞台（後の早稲田小劇場）を結成。以来、日本を代表する劇作家として活躍。岸田國士戯曲賞、紀伊國屋演劇賞、芸術選奨文部大臣賞、読売文学賞、毎日芸術賞、鶴屋南北戯曲賞、朝日賞など受賞多数。

日常性に潜む不条理を、小市民の日常会話の積み重ねによって展開させてゆく手法には鮮烈な魅力があり、多くの演劇人に影響を与えた。戯曲のほかに、童話、エッセイ、評論など多彩な著作でも知られる。

2003～2008年度、兵庫県立ピッコロ劇団代表。2020年3月逝去。

< 2004年5月20日発行『into vol.5』掲載 >

終電の去った深夜、神戸の街をどこからともなく現れた列車が毎夜、西へ向って走ってゆく。恐らく、大震災で亡くなった死者たちのたましいを送ってゆくのであろうと言われていたが、誰もその姿を見たものはいない。

ソーントン・ワイルダーの名作『わが町』を底本に、震災後の神戸の街の、ささやかな市井のものがたりをつづった鎮魂劇。

もしかしたら、《わが町》のふるさと・ニューハンプシャー州、グローバーズ・コーナースの駐車場で、チビのホーキンスの送り出した列車が、はるばるとわが神戸に、走りこんでくるのかもしれない。

別役 実

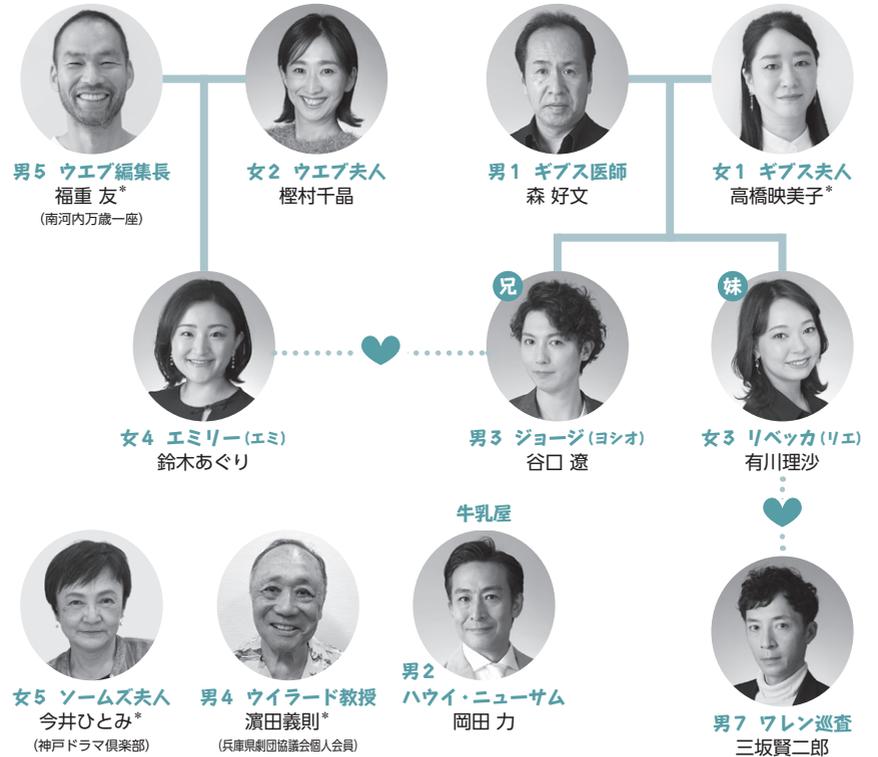
『わが町』とは？

ソーントン・ワイルダー（1897-1975）による戯曲。1938年に発表され、ピューリッツァー賞を受賞。アメリカ演劇を代表する戯曲のひとつで、現在も世界中で上演されている。

【ものがたり】20世紀初め、ニューハンプシャー州のグローバーズ・コーナースという架空の町を舞台に、隣り合った二つの家族の生活が描かれる。ギブス家の息子・ジョージとウェブ家の娘・エミリーのほのかな恋、大人になった二人が迎えた結婚式、そして別れ—

人物 相 関 図

* 関西俳優陣



オルガン弾き



進行係
今仲ひろし



男6
サイモン・ステムソン
孫 高宏



男1 ギブス医師
森 好文



女1 ギブス夫人
高橋映美子*



女4 エミリー(エミ)
鈴木あぐり



男3 ジョージ(ヨシオ)
谷口 遼



女3 リベッカ(リエ)
有川理沙



女5 ソームズ夫人
今井ひとみ*
(神戸ドラマ倶楽部)



男4 ウィラード教授
濱田義則*
(兵庫県劇団協議会個人会員)



男2
ハウイ・ニューサム
岡田 力



男7 ワレン巡查
三坂賢二郎

街の人・死者



木下鮎美



真里奈*
(神戸ドラマ倶楽部)



岡島大祐



中川義文



大平 亮*
(神戸ドラマ倶楽部)

合唱

有馬星斗、有馬葉子、柴田英夫、柴田道子、厨子雅哉、樋口佐知子、前田令子、山崎祥治朗、芳川遼磨

*やむを得ない事情により、出演者などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



演出：吉村 祐樹

20年前、僕は『神戸 わが街』のジョージ（ヨシオ）役として舞台上に立っていました。まさか自分が演出することになるなんて夢にも思いませんでした。人生、何が起こるかわかりませんね。

再びこの台本を読んでもと、恩師からの言葉を思い出しました。「当たり前前を当たり前前だと思っちゃいけない。当たり前前ってのは失った時に初めてその有り難さや尊さに気がつくものだから。」僕は別役さんがいらっしやるのが当たり前前でした。今となっては、もっとたくさんお

話ししておけばよかったと後悔しています。

この作品は、日常生活の中にある「当たり前前」が描かれています。それと同時に、行く先が見えない、漠然とした不安感みたいなものも感じます。まるで巨大な迷路の中にポンと放り込まれたような。

そんな世界で生きている人々を、別役さんは神のような視点で見つめています。

この作品を演出する事が決まってから、夜空を見上げる事が多くなりました。そうすると、ふと別役さんの「天の声」が聞こえてくる気がします。「そこに居て良いんだよ」と。

皆さんも夜空を見上げてみてください。もしかしたら「星の声」が聞こえてくるかもしれません。

【プロフィール】

1977年生まれ。大阪芸術大学舞台芸術学科卒業後、円・演劇研究所を経て、2002年ピッコロ劇団入団。ピッコロ劇団公演において主要キャストを多数つとめる。また、オフシアターやおでかけステージ（小学校公演）、ファミリー劇場などを中心に演出を手掛け、やわらかな発想で舞台づくりにのぞんでいる。

〈これまでのピッコロ劇団での演出作品〉

オフシアター Vol.18『ビューティフル・サンデイ』（2007～2008）

第41回公演『しんしゃく源氏物語』〈紅組〉（2011）

オフシアター Vol.26『エレノア』（2012）

おでかけステージ『学校ウサギをつかまえる』（2014～）

オフシアター Vol.34『umami』（2018）

ファミリー劇場『歌うシンデレラ』（2019）

【スタッフ】美術＝柴田隆弘／照明＝西川佳孝（株）ハートス／編曲＝木下 出／音響＝三宅住絵（campana）

衣裳＝木場絵理香／ムーブメント指導＝いいむろなおき／演出助手＝眞山直則／舞台監督＝政香里沙

舞台監督補＝永瀬由二（ISCplayer[s]）／演出部＝中島深志／劇団員スタッフ＝野秋裕香

チラシデザイン＝中島深志／音声ガイド＝吉江麻樹／鑑賞サポート＝古川知可子、新倉奈々子

制作＝新倉奈々子／制作助手＝銭 大亮、今井佐知子

劇中歌『風の子守歌』（作詞＝別役 実 作曲＝池辺晋一郎）ほか

音声ガイドサービス

2月22日（土）11：00／16：00の回では、視覚に障害のある方の鑑賞をサポートする音声ガイドサービスをご用意します。舞台上の風景や登場人物の動き、表情などをリアルタイムでお伝えします。音声ガイド台本・ナレーション：吉江麻樹（ピッコロ劇団）

要事前申込（ガイド機器貸出無料）【申込締切：2/15（土）】

TEL：06-6426-1940 担当：古川・新倉



吉江麻樹

今回上演する『神戸 わが街』では、『風の子守歌』ほか、いくつかの「子守歌」が登場します。これらの曲は、作詞＝別役 実・作曲＝池辺晋一郎による混声合唱曲集『六つの子守歌』の6曲の中から抜粋しています。

『風の子守歌』

作詞＝別役 実 作曲＝池辺晋一郎

おやすみなさい	おやすみなさい	おやすみなさい
風は	風は	風は
いつてしまった日を	死んでしまった人を	忘れてしまったことを
かぞえながら吹くのです	かぞえながら吹くのです	かぞえながら吹くのです
あのひのしあわせと	あのひのしあわせと	あのひのしあわせと
このひのふしあわせと	このひのふしあわせと	このひのふしあわせと
いつかみたあおいそら	いつかみたしろいくも	いつかみたひのひかり

JASRAC 出 2410295-401

「神戸 わが街」関連企画

“届けたい記憶”を募集します



▲応募フォーム

阪神・淡路大震災から30年。1月17日のこと、それからの街のこと…あなたの“届けたい記憶や思い”を募集します。

応募いただいた中からいくつかの原稿を『神戸 わが街』の出演者が選び、ピッコロシアター・ピッコロ劇団公式Xにて、朗読させていただきます。また、応募いただいた全ての原稿を、『神戸 わが街』公演期間中、会場の兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホールホワイエで掲示します。

応募内容：阪神・淡路大震災から30年にあたって、誰かに届けたい「震災の記憶」や「街にまつわる記憶や思い」（300字まで）

必要事項：・名前またはペンネーム（原稿とともに掲載）

・年齢（任意／原稿とともに掲載）

・住所、メールアドレスまたは電話番号

応募方法：①応募フォーム

②郵送 〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8 ピッコロ劇団

「神戸 わが街」担当

応募締め切り：2月15日（土）必着

・応募原稿は返却いたしません。

・応募者以外の方に関する個人情報等の記載、もしくは公序良俗に反する内容や、本企画の募集内容に合致しない内容であった場合は、掲示を控させていただきます。判断理由のお問い合わせはお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

兵庫県立ピッコロ劇団
 オフシアター Vol.41
 一般財団法人尼信地域振興財団助成公演

ダウトー疑いをめぐる寓話

作=ジョン・パトリック・シャンリイ 訳=鈴木小百合 演出=中島深志 (ピッコロ劇団)

「神父様が、生徒を誘惑したかもしれない…」

ある“疑惑”をめぐる、緊迫の会話劇。

ものがたり

1964年、ニューヨーク・ブロンクス地区にあるミッションスクール。厳格な校長、シスター・アロイスは、ある日「上司にあたるフリン神父が、ある黒人男子生徒と不純な関係を持ったのではないか」という“疑い”を抱く。やがて彼を学校から追放するため、校長と神父は激しく対立していく…

日時

2025年
4月11日(金) 18:30
12日(土) 11:00 / 16:00
13日(日) 11:00 / 16:00
 ※受付は開演の45分前、開場は開演の20分前

会場

ピッコロシアター 中ホール

※やむを得ない事情により出演者などが変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



シスター・アロイス
吉江麻樹



フリン神父
今仲ひろし



シスター・ジェームズ
中田綾乃



ミラー夫人
今井佐知子

■ 2025年2月15日(土) チケット予約開始 チケット料金: 2,500円 (税込)

▶ ピッコロシアター窓口/電話 06-6426-8088 (9:00~21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)

▶ メール gekidan-p@hyogo-arts.or.jp (タイトルを「ダウト」として下さい)

記入事項 ①予約者名 ②電話番号 ③ご観劇日時 ④チケットの枚数

(※3営業日以内に返信がない場合はお問い合わせください。)

▶ teket 電子チケットサービス (<https://teket.jp>) ※各種クレジット決済・コンビニ決済可

※整理番号付き自由席

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※ピッコロサポートクラブ会員は1割引 (ピッコロシアターのみで取扱い)



演出: 中島深志

『ダウトー疑いをめぐる寓話』は、とあるミッションスクールを舞台に、一人の黒人男子生徒と神父が不適切な関係をもったのではないか、という〈疑い〉をやめないシスターと、それを真っ向から否定する神父との対立が描かれます。

彼らの根底に在るのは、「絶対に他人には言えない過去」「隠さないといけない秘密」、誰しもが生きていく上で抱える、言葉では形容し難い〈グレー〉な部分。

舞台は1964年のニューヨーク、前年にはカトリック初の大統領であるケネディが暗殺。また本作が執筆された2004年といえば、〈疑い〉に端を発するイラク戦争の渦中にありました。それぞれの信念と生き様を賭けた壮絶な対立と葛藤の果てに、どんな〈疑い〉がいまの私たちに残るのでしょうか。

【プロフィール】

1995年生まれ。関西大学文学部、ピッコロ演劇学校卒業。2022年ピッコロ劇団入団。ピッコロ劇団での演出は前回のオフシアター Vol.40『パレードを待ちながら』に続いて2回目となる。

公演に先駆けてチラシに使用する写真の撮影を行いました。

撮影の様子を少しだけ、お見せします。演出の中島が自らカメラを握りフリン神父役の今仲を撮影。



撮影された写真はどのように使われるのでしょうか… チラシをぜひご覧ください。

【スタッフ】

美術=加藤登美子、照明=竹内哲郎 ((株) ハートス)、音響=三宅住絵 (campana)

舞台監督=政香里沙、チラシデザイン=中島深志、制作=山中麻由・河東真未

お問い合わせ▶

■ 兵庫県立ピッコロ劇団

TEL:06-6426-8088/FAX:06-6426-1943

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8 月曜休館 (祝日の場合は翌日)

<https://piccolo-theater.jp>

兵庫県立ピッコロ劇団第 82 回公演

『新天地へ ～ある移民の物語～』

作・演出＝島守辰明 (ピッコロ劇団)

新天地アメリカは、貧困にあえぐアイルランドの若者たちにとって夢の国だった。

シカゴで成功したある女性が、身元引受人として故郷のアイルランドの小さな村で集めた移住者は、実の姪を含めた若者たち。

それぞれの家族、それぞれの生活を背負って、彼らは新天地を目指したが…

実話にもとづき描かれる、若者たちの希望と葛藤の物語。

2025年5月末～6月上旬 ピッコロシアター大ホール



作・演出：島守辰明

東京都生まれ。2003年から3年、ロシア国立モスクワ・マールイ劇場及び附属シェーブキン演劇学校にて研修。2006年ピッコロ劇団入団。ピッコロ劇団での主な演出・翻訳作品に、『ワーニャ伯父さん!』『私のかawaiiそうなマラート』『喜劇 かもめ』『長い墓標の列』『もういちど、鴨を撃ちに』『三人姉妹』など。そのほか劇団神戸など外部での演出も手がける。ピッコロ演劇学校では研究科主任講師を、新国立劇場演劇研修所や近畿大学、関西学院大学などでは非常勤講師をつとめる。平成28年度尼崎市民芸術賞受賞。

自動車整備のことなら……

サトウオートサービス

◆営業時間◆ 午前9時～午後6時
〒661-0978 尼崎市久々知西町1-4-4
☎06-6420-8972(代)



ヤマハサウンドシステム株式会社
大阪営業所 大阪市淀川区西中島 4-7-18



あなたを
人生を
後世に
つたえる

自費出版のご相談は
みるめ書房
神戸078・871・0551

Panasonic

メンテナンスからリニューアルまで
最適な舞台・スタジオ照明設備環境を
ご提供致します。



パナソニックEWエンジニアリング株式会社 近畿支店
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 JY0タワー9F
TEL(06)6910-0177

舞台美術・舞台技術・舞台制作
照明・音響・映像

KISS

神戸国際ステージサービス株式会社
代表 ☎078-994-1855
本社/神戸市西区見津が丘1丁目16番地の2

Stage Sound Lights
Engineering&Equipment
Event Plan&Management
<http://www.pacwest.co.jp>

PAC WEST

ほりべ運送株式会社

※小さな単身引越し 室内の家具移動 大きな事務所移転
楽器類や催し物の備品類移動まで

TEL：0120-88-1290
FAX：06-6428-0035

お見積もりは無料です!
まずはご相談して下さい

ピッコロ劇団 今後の公演ラインナップ

A・J・特別・法人会員は、対象公演 から年間3本の公演をお選びいただき、種別・口数に応じてご招待します。

対象公演	2025年 2月	第81回公演 ピッコロシアタープロデュース 神戸 わが街 ソートン・ワイルダー作「わが町」より	潤色=別役 実・ピッコロ劇団 演出=吉村祐樹 (ピッコロ劇団)	兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
対象外	4月	オフシアター Vol.41 ダウトー疑いをめぐる寓話	作=ジョン・パトリック・シャンリイ 訳=鈴木小百合 演出=中島深志 (ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 中ホール
対象公演	5・6月	第82回公演 新天地へ ～ある移民の物語～	作・演出= 島守辰明 (ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 大ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞) としても上演
対象公演	8月 11・12月	ファミリー劇場 タラレバ幽霊とタカラの山	台本=谷口雅美、 原 竹志 (ピッコロ劇団) 演出=原 竹志 (ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 大ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞) としても上演
対象公演	9・10月	第83回公演 火のようにさみしい姉がいて	作=清水邦夫 演出=眞山直則 (ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 中ホール
対象外	10・11月	おでかけステージ 学校ウサギをつかまえろ	原作=岡田 淳 (偕成社 刊) 演出=吉村祐樹 (ピッコロ劇団) 台本=眞山直則 (ピッコロ劇団)	兵庫県内の小学校ほか

NEWS

■令和6年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 「内閣府特命担当大臣表彰優良賞」を受賞！

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績のあった者を顕彰し、優れた取組を広く普及させることを目的として、内閣府が平成14年度から実施している「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」。その令和6年度「内閣府特命担当大臣表彰優良賞」に兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)及び兵庫県立ピッコロ劇団が選ばれました。当劇場及び当劇団がこれまで行ってきた、演劇による被災者支援活動、障害者も演劇を楽しめる鑑賞サポート、ピッコロ劇団員による在留外国人の地域コミュニティ参加支援などが高く評価されたものです。

その表彰式が、12月27日に総理大臣官邸にて行われ、林隆之館長及び菅原ゆうき劇団員が出席しました。石破茂内閣総理大臣のあいさつの後、三原じゅん子内閣府特命担当大臣が林館長に表彰状を授与。その後、劇場・劇団の取り組みについて、林館長・菅原劇団員が直接、石破総理及び三原大臣に説明しました。三原大臣からは、「このような取り組みは、まだ少なく、全国の劇場・劇団に広まっていけばよいですね」とのお言葉をいただきました。

当劇場・当劇団は今後とも、「芸術で地域をつなげてみんなが生きやすい社会をめざします」をモットーに、舞台芸術を通して、みんなが共生する地域社会づくりに貢献してまいります。



ピッコロサポートクラブ会員募集

ピッコロ劇団が観客の皆様と交流を深めていくために発足したピッコロ劇団後援会(ピッコロサポートクラブ)。お得な数々の特典で、ピッコロシアターの催し物をお楽しみいただけます。これからもう一層内容の魅力アップをはかります。

●おもな特典(会員ごとに異なります)

- ・ピッコロ劇団公演へのご招待または割引、優先予約
- ・ピッコロシアター自主事業の割引、優先予約
- ・ピッコロシアター利用券(500円分)進呈
- ・ご来場回数に応じて、記念品を進呈
- ・ピッコロシアター催物案内や機関誌の送付
- ・ピッコロ劇団員との交流会へのお誘い

●種類と年会費及び特典

- ・A会員(個人) 6,000円
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・B会員(個人) 2,000円
ピッコロ劇団公演の割引(ご本人・同伴者とも1割引)
- ・J会員(高校生以下の個人) 4,000円
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・特別会員(個人) 10,000円
ピッコロ劇団公演3作品に2名ご招待(同伴者1割引)
- ・法人会員(企業・団体) 20,000円
ピッコロ劇団公演3作品に4名ご招待(同伴者1割引)

- お問い合わせ/詳しいご案内をお送りします!
ピッコロサポートクラブ事務局 TEL.06-6426-8088

ピッコロサポートクラブへようこそ！

ピッコロ劇団を支援してくださっている法人会員

尼崎商工会議所/尼崎信用金庫/
株式会社尼信経営相談所/尼信ビル株式会社/
尼信保証株式会社/尼信リース株式会社/
尼崎ホテル開発株式会社 ホテルヴィスキオ尼崎/
石光商事株式会社/株式会社柄谷工務店/
株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎/
株式会社小西印刷所/学校法人園田学園/
株式会社つむら芸芸/西北活性化協議会/
株式会社日興商会/日興油脂株式会社/
公益財団法人ニッセイ文化振興財団/
株式会社ハートス/株式会社ピーエーシーウエスト/
日之出商事株式会社/ひょうご県友会神戸支部/
ひょうご県友会阪神支部/丸善食品株式会社
今後ともご支援お願いします。(敬称略) R7.1.8時点

サポーターズ・ヴォイス(アンケートより)

●ピッコロ劇団おでかけステージ

- 『学校ウサギをつかまえろ』感想
2024年11月9日(土) 尼崎市立武庫西生涯学習プラザ
- ・元気いっぱいのお話で、気持ちも明るくなりますね。自分が小学生のころをちょっと思い出しました。
- ・子どもが本当に舞台上にうさぎがいると思って、のぞきこんでいました。



- ・ある日のたった1日の夕方のできごとでしたが、ドキドキワクワクしてたのしかったです。見に来てよかったです。子どもの頃の放課後を思い出してちょっぴり切なくなりました。
- ・キャラクター1人1人がどの人も好きになれた。山田をうたがった自分がとてもはずかしくなりました。
- ・劇場全体を舞台にすることで、観客も劇にも入り込んだ雰囲気の中、一体感が生まれました。
- ・小学校の時の気持ちに戻れました。夕日が沈むときのさみしさ・・・でも友達と離れたくない、そんな気持ち。



お寄せいただきましたご意見を参考に、今後もより良い作品づくりに劇団員・職員一同励んで参ります。ご観劇いただきました皆様ありがとうございました。

ピッコロシアター鑑賞劇場

ピッコロ寄席「桂米團治独演会」

【日時】 2月2日(日) 14:00
 【会場】 ピッコロシアター 大ホール
 【料金】 全席指定 一般 3,000円 高校生以下 1,500円
 【演目・出演】 『子ほめ』 桂 米舞
 『看板の一』 桂 米團治
 『紙入れ』 桂 團治郎
 『不動坊』 桂 米團治
 ～ 中入 ～
 上方落語のお囃子紹介
 『質屋芝居』 桂 米團治
 三味線：浅野美希



ピッコロ寄席「子どもと楽しむ落語会」

日本の文化・習慣、庶民の情や知恵をいきいきとユーモラスに描く“落語”の世界。わかりやすい解説と、たのしい体験コーナーもあり、“落語”の不思議・魅力に気軽に触れられます。落語初心者はもちろん、もっと落語を知りたい方にも！

【日時】 3月8日(土) 14:00
 13:30～開場中はお囃子体験ができます！
 【会場】 ピッコロシアター 大ホール
 【料金】 全席指定 一般 2,500円 高校生以下 1,000円
 セット券(一般+高校生以下) 3,000円
 【内容・出演】 ごあいさつ 桂 吉弥
 『動物園』 桂 二豆
 落語について 出演者全員
 ～ 中入 ～
 『四人ぐせ』 桂 佐ん吉
 『蛇含草』 桂 吉弥



< 昨年のお囃子体験の様子 >



● お問い合わせ・お申込み ●

ピッコロシアター TEL 06-6426-1940 FAX 06-6426-1943
 (9:00～21:00 / 月曜休館 ※祝日の場合翌日) 最新情報はホームページで！ <https://piccolo-theater.jp>

ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校

「ピッコロ演劇学校」と「ピッコロ舞台技術学校」は、ピッコロシアターが運営する、演劇と舞台技術を学ぶための学校です。演劇を通して舞台の楽しさを知る「ピッコロ演劇学校」舞台を支える技術を学ぶ「ピッコロ舞台技術学校」。劇場での学びを通じて、多くの人に感動と笑顔を届けます。

- ◆週2日・夜間開講で社会人・学生でも無理なく通えます。
- ◆リーズナブルな授業料で、充実の講師陣。
- ◆未経験でも大丈夫。基礎から学べます。
- ◆劇場ならではの絶好の環境で、仲間と舞台を創る喜びを！

ピッコロ演劇学校

- ◆初心者でもよくわかる、座学&実技のバランスが取れたカリキュラム
- ◆半期ごとに発表会・公演を実施
- ◆本物の舞台を教室として学べる最高の環境



【開講期間】
 2025年4月から2026年3月までの1年間
 週2日(火曜・木曜)の夜間(18:40～20:40)
 その他、日本を代表する演劇人、舞台技術者による特別講義あり(土・日曜開催、年数回)
 【受講資格】
 原則18歳～35歳の方。ただし教育・文化活動に携わっている方は年齢の制限はございません。
 【定員(予定)】本科40名、研究科20名
 【年間授業料】本科120,000円
 研究科132,000円 ※3期分納
 【出願締切】前期：3月12日(水)
 後期：4月2日(水)
 【選考試験(本科)】前期：3月16日(日)
 後期：4月6日(日)

※研究科は本科修了者対象 別途お問い合わせください。

ピッコロ舞台技術学校

- ◆初心者でも安心！基礎から学べる丁寧な講義と実習
- ◆実際に劇場で使われている機材を使って学ぶ実践的な授業
- ◆プロとして活躍する卒業生も多数



【開講期間】
 2025年4月から2026年3月までの1年間
 週2日(水曜・金曜)の夜間(18:40～20:40)
 その他、日本を代表する演劇人、舞台技術者による特別講義あり(日曜開催、年数回)
 【受講資格】
 原則18歳～40歳の方。ただし教育・文化活動に携わっている方は年齢の制限はございません。
 【定員(予定)】30名
 【年間授業料】100,000円 ※3期分納
 【出願締切】前期：3月12日(水)
 後期：4月2日(水)
 【選考試験】前期：3月15日(土)
 後期：4月5日(土)

令和6年度ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校 合同卒業公演

2025年3月1日(土) 17:00 2日(日) 13:00 ピッコロシアター大ホール

喋

- ① 2024 年を振り返って
- ② 2025 年に願うこと

孫 高宏
 ①旗揚げメンバーだった久次米健太郎さんが、劇団に帰ってきてくれて大喜びしたなあー。
 ②いい動きがしたい!!

森 好文
 ①思いがけないことの多い一年でした。
 ②楽しむことを忘れず、50代最後の一年を過ごしたい。

亀井妙子
 ①支えてくれる人がいて本当にありがたかったです。
 ②大切なことを再確認して、また歩いていきたいです。

森 万紀
 ①多くの方の支えで、舞台上立つことができました。心から感謝しています。人生における艱難辛苦は GIFT。幸せの正体が少し見えた年でした。
 ②演劇には、人を、世界を変える力がある、もう一度信じて生きてみようと思います。

吉江麻樹
 ①有難いことに、多くの創作現場に関わらせていただき、学びの多い一年でした。
 ②もう少しばーっとできる時間がほしいです (笑) !

眞山直則
 ①「さらってってよピーターパン」の再演に挑みました。1997年に初演。27年目のご愛顧に本当に感謝しております。
 ②50歳になります。なにをする生なのか分かったっちゃうのかもしれない。これまでにいただいたものを返していきたい。たくさんあります。

原 竹志
 ①演劇のおもしろさを広く伝えようと活動しました。「あしあとのおと、ものがたり」では足掛け二年、本公演で企画立ち上げから上演までたくさんの方の力をお借りしました。ありがとうございました。
 ②準備と挑戦と。心身ともに健康で元気に活動したいです。ご期待ください。

吉村祐樹
 ①あっという間に過ぎたという印象。考える事がたくさんあって、次から次へと追われる一年でした。
 ②とにかく身体に気をつけて、余裕をもって行動できるように心がけたいです。

今井佐知子
 ①何も覚えてないけど、風邪ひきました。何回も。悔しいです。
 ②みんなが健康で笑って過ごせますように

櫻村千晶
 ①親としての覚悟が更に引き締まった一年。
 ②平和に。穏やかに。自分軸をずらさずに進む

風太郎
 ①「ロボット」の出演が印象深い。久しぶりのガッツリした役だった。変化の多い年。芝居を含め、生き方を考えた。
 ②「どうなるか」ではなく「どうするか」。計算ではなく、心に灯る明かりに従って生きていこう。

岡田 力
 ①経済対策や復興支援のため文化事業への補助金が削減されつつあるのを実感しました。
 ②やはり戦争も災害もないことを祈ります。

今仲ひろし
 ①今年は、櫻村さんと一緒にいる事が多かったです。お世話になりました。楽しかったです!
 ②良い芝居が出来るよう健康に気をつけたいです。

島守辰明
 ①2024年の夏に初長崎、初九州に上陸。演劇学校研究科の今年の戯曲のための個人の視察に行ってきました。
 ②夏に書いた「盛夏～長崎より～」を3月のピッコロ演劇学校卒業公演で上演します。

中川義文
 ①子曰く「未だ生を知らず、焉んぞ死を知らん」
 ②子曰わく「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」

浜崎大介
 ①年々、最近の事がすぐに思い出せなくなって来ました。ロボット、缶詰、ピーターパン。色々チャレンジ出来た様な気がします。
 ②来年も新鮮な気持ちで忘れずに過ごしたいと思います。

野秋裕香
 ①もう一度ティンカーベルをやらせてもらえたこと感謝しています。自分のやりたいことも達成できた年。
 ②健康な身体作り。自分にかかる時間を増やしたい。

政香里沙
 ①仕事はちゃんとしたけど、オフに怠けてきて。。この年末に取り戻すぞ!って思ってるけどすでに毛布が恋しい。。
 ②習い事したいなあと思って足踏みしてるので、実行できるように頑張る。あと車の練習してぶらぶら旅行に行きたい。

三坂賢二郎
 ①ここ数年で最も激動の日々を送った気がする。
 私事も仕事も好い一年だった。
 ②心身共に健康。

木之下由香
 ①新たな『役』との出会い、眠れない日々を思い出す。感謝です!
 おでかけステージでは、客席に繰り出して子どもたち「じかに」向かい会えたことが嬉しい。
 ②演劇学校の本科助手として初めての卒業公演が3月に! 全員の力を1つに! 是非観に来てください。

菅原ゆうき
 ①間違いなく人生でいちばん言葉を発した一年。自分の考えを言語化して「言葉を持つ」ことがテーマでした。
 ②舞台上で、彼の言葉を喋りたい。インプットとアウトプットをバランス良く。マンネリ化しない。でも健康第一。

堀江勇氣
 ①山あり 谷あり
 優しさに触れ厳しさに触れ
 ②徐々に
 健康第一
 感謝

木村美憂
 ①出会いに恵まれて点と点が繋がってやってきたかったこと全て挑戦出来た。自分らしい一年になりました。
 ②30歳になります。心と身体の健康が1番。生き急がずに穏やかにゆっくりと歩みたい。繋がっていくことも大切に。

有川理沙
 ①有難い事に今年度は、全公演に出演させて頂きました。もう12月…!!ってかんじです笑。1年早いなあ。楽しかったなあ。
 ②今年過ごした日々を来年に活かされますように。
 2025年も楽しく生きるぞー。

鈴木あぐり
 ①後ろを見つめすぎてしまった日々もありました。そんな私に向き合ってくれたみなさまに大・大・大感謝。
 ②後ろは忘れず前を向く。あったかい心と笑顔を忘れず。

谷口 遼
 ①とにかく周りに助けて頂いた年でした。ようやく、自立しつつも、不安定な土台。一歩ずつ前へ。
 ②初心を思い出す。そして富士山へ。あと空も飛びたい。

岡島大祐
 ①新しいことに挑戦させていただいたと同時にあまりにも助けられていることを実感した1年でした。
 ②感謝と挑戦と筋トレとサックス。

木下鮎美
 ①機会に恵まれた1年。皆さんに手やら胸やお褒めいただき、楽屋や舞台袖でじわっと来た瞬間がいくつもありました。
 …ほんでやっぱり!お芝居が連れてってくれる世界は底抜けに面白い! (何度も新しく再発見できて、誠に凄いです。)
 ②欠乏は放っておいて今を生きる。

中島深志
 ①まだまだ。
 ②想いを背負って、攻めの姿勢で。

大澤寧音
 ①今年関わった全ての方に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。
 ②世界平和。

銭 大亮
 ①色んな遠回りをして、やっと目的地にたどり着きました。
 ②また遠回りしながら、違う目的地を探すと思います。

中田綾乃
 ①いろいろな「初めて」を経験し、たくさんの人に支えられ、ご縁と学びに恵まれたあっという間の1年でした。
 ②感謝の気持ちを忘れずに、真摯に、がむしゃらに、楽しんで突き進む。道中、また素敵なご縁に恵まれますように。

談



11月、2024年度おでかけステージ『学校ウサギをつかまえる』が無事に上演を終えました。演出を手掛けた吉村祐樹に振り返ってもらいます。

今年度は様々な上演を体験することができました。大人が子どもよりも多い公演があったり、賑やかな小学校あり、逆に生徒数が少ない小学校も。おでかけステージはその名の通り、色んなところに出かけていきます。いつも目標としているのは「観ている人と一緒に芝居をつくる」ということです。それぞれの場所で観客の反応は全然違います。それを受け止めつつ、俳優は劇を進めていく。舞台と客席のキャッチボールです。その時、その場所でしか出来ない劇がそこに生まれます。その空気感がとても好きです。そんな素敵な空間を必死でつくってくれた俳優達、裏で支えてくれたスタッフの皆さんに感謝しています。そして同じ時間を共有していただいた観客の皆様、ありがとうございました。



この作品の原作である岡田淳さんの物語は、どれを読んでも素朴な温かさに包まれています。今回の『学校ウサギをつかまえる』も、本当にウサギを胸に抱いているような、柔らかで、かけがえのない温かさに包まれていました。

『ありがとう』この言葉を胸に、また次に進みたいと思います。

談



11月15日、菅原ゆうきが『全ての人々が演劇を楽しめるように一障害者観劇サポートの取り組み』として、関西学院大学上ヶ原キャンパス図書館ホールにて講演会を行いました。

「舞台は一人では創ることができない」という言葉は、演劇に携わる者にとって、もはや耳慣れた表現ですし、そのことを身を以て実感する場面は何度も巡り合います。さらに言えば、「鑑賞サポート」こそ、まさに「一人では創ることができないもの」なのではないかと思えるのです。僕は舞台上に字幕や音声ガイドを付けていますが、それは「鑑賞サポート」という広い枠組みの中のほんの一角です。まず、当事者の方が安心して劇場まで来られる「アクセスサポート」。手話や要約筆記などでスムーズに対応する「コミュニケーションサポート」。そして最後に、舞台を楽しむために必要情報を補助する「情報サポート」。この3つが上手く機能して、はじめて当事者の方々にとって満足のいく鑑賞体験が実現するのではないのでしょうか。他にも要素を挙げればたくさんあると思いますが、僕がさらにひとつ加えたとしたら「広めること」も大事な役割だと考えています。この講座の質疑応答で「大学生の自分にも何かできることはありますか」という質問を頂きました。誰もが当たり前前に芸術を楽しむことができる社会へ向けて、僕も僕にできることをやっていきたいと思っています。



談



11月22日～24日、近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻35期生による演劇実習公演「新天地へ～ある移民の物語～」(作・演出＝島守辰明)が上演されました。近畿大学2回生の実習クラスを長く担当している島守辰明に振り返ってもらいました。

初めて近畿大学の授業を持ったのはもう10年前になります。私の担当は2回生で年間を通じて演劇上演までを指導しています。

学生たちの中には高校での演劇経験者もいますが、多くの学生は未経験で、それぞれ4年間の間に演劇、舞踊と選びながら学んでいきます。

また俳優の勉強をしながら、それぞれに美術、照明、音響などの授業を取って、2回生の上演では演じるのと同時にそれぞれのプランも作っていきます。

今年は、来年ピッコロ劇団でも上演予定の自作「新天地へ～ある移民の物語～」を題材にしました。もともとピッコロ演劇学校の題材として書いた戯曲で、ダンス、歌なども入れた作品ですが、さすがは19歳～20歳の2回生。大変なエネルギーで千穉楽まで乗り切りました。

演劇の面白さ、深さ、人を感動させるという力、毎回違う観客と出会うライブ感、そして何より私が伝えたい「人間ドラマ」の力がどれだけ観客の心に直接訴えかけていくか。演劇学校でも、どこでも同じことを伝えていますが、これから社会へ出ていく若い学生のみならず、力を与えてくれるものを持ってくれたら、と切に願っています。



談



11月26日、神出学園で行われた演劇ワークショップについて講師を務めた中川義文に振り返ってもらいました。

あいにくの雨。生徒は集まるだろうかと不安の中、学園に到着。低気圧の中、出席できたのは48名中、18名。まずは自己紹介がてら、今日のメニューの趣旨を簡潔に。「はじめまして」の感触をお互いが確かめ合いながら、徐々に身体感覚を馴染ませていく。「目を合わせなくていい、頑張らなくても出来る」ということも丁寧に伝える。冒頭から食いついてきた子は、1時間経たず脱落。張り切りすぎていたようだ。全員→ペア→グループと、個をケアしながら集団作業へ。ゆっくり合意形成を重ねていく。打ち合わせ時に先生からは「ほぼ全員が人前に立つことは嫌がります」と伺っていたが、全員が発表までたどり着く。前半で疲れた子も、最後は戻ってきてくれた。校長先生が特別支援の知識のある方で、こちらのメニューや声掛けの意図を理解してくれた。ただ演劇の要素を抽出しただけのワークショップはもはや通用しない。相互理解の深まった現場となった。



学



11月27日、尼崎市立浦風小学校で、『あつまれ！ピッコロひろば』を行い、亀井妙子と森 万紀が指導にあたりました。亀井妙子に話を聞きました。

昨年より、尼崎市文化振興財団・アルカイックホールの主催で、尼崎の小学校に演劇ワークショップに行っています。今回は、5年生と6年生を対象に、各45分。こういうワークショップは初めてとのことでしたが、冒頭の“見えない壁を想像し、それをさわる”というメニューから、さっそくたのしそうで、触るだけでなく、叩いたりぶつかったりしていました。その後、一人一人のコミュニケーションからはじめて、最後にはグループでの発表会も行いました。終わった時に“早く時間が過ぎた”“もっとやりたい”“伝える難しさもあったけど、それも楽しめた”という感想がありました。たしかに、伝えたい思いと同時に、伝えることの難しさは常にあって、それを“楽しい”とすることができる時間であったことに安堵し、あらためてワークショップで大切にしていることを再確認した思いにもなりました。この短い時間の中で、演劇とコミュニケーションを楽しみたいと感じてもらえたのなら、心からうれしいです。



談



12月21日・22日、兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホールにて、『さらって行ってよピーターパン』を上演しました。上演前の子ども出演者との稽古の様子を大澤寧音に語ってもらいました。

『さらって行ってよピーターパン』子ども稽古を担当しています大澤寧音です。才能あふれる子ども達と、最高に幸せな日々を過ごしております。

子ども出演者は、なんと5年ぶり！今回の演出家である眞山さんの強い想いから、今年、復活になりました。眞山さんは、“子ども達が後から参加した”のではなく、“初めから子ども達が参加していた”『さらって行ってよピーターパン』を目指しています。そして、歌唱指導の中島恵美先生、振付の福島直美先生、劇団員の堀江さん、中島さん、中田さん、銭さんと共に、子ども達ひとりひとりと大切な共演者としてあそびながら創造しております。子ども達、すごいのです！上演はどうなっているのでしょうか……？！ そうなのです、実は、書いている今は、絶賛お稽古中！きっとこれを読まれる時は、公演が終わっているのです、子ども達へのメッセージで終わろうと思います。

「みんな、素敵な日々をありがとう。はじめに約束した3番目の内容覚えてますか？【いちばん楽しむ】さあ、いちばん楽しんで、お客さんの心をさらっておいで！大好きだよ！」



動

指導
 ■関西学院大学人間福祉学部
 社会福祉学科 講演会
 『すべての人が演劇を楽しめるようにー障害者観劇サポートの取り組みー』

講師=菅原ゆうき 日程=24.11.15
 会場=関西学院大学上ヶ原キャンパス図書館ホール

■兵庫県立夢野台高校 教育・心理類型
 表現力育成向上ワークショップ

講師=菅原ゆうき、三坂賢二郎
 日程=24.12.16、13、25.1.20

■(公財)東京都歴史文化財団
 社会包摂につながるアート活動のためのレクチャー&トレーニング

講師=菅原ゆうき 日程=25.1.18
 会場=東京文化会館大ホール

外部出演等

■NHK 連続テレビ小説『おむすび』
 出演=森 好文 日程=24.9.30～(放映)

■公益社団法人日本劇団協議会 機関誌 join
 我が劇団の「一枚の写真」

投稿=孫 高宏 日程=24.11月～(発行)

■尼崎市立北図書館 おはなしBOX

出演=風太郎、吉江麻樹、有川理沙
 日程=24.12.8

■みんなのあま咲き放送局『あま咲きイブニング』

投稿=風太郎、吉江麻樹、有川理沙
 日程=24.12.24

■シンポジウム

『災害と演劇を考えるー繋げる・繋がるためにー』

出演=孫 高宏、森 好文、原 竹志
 日程=25.1.5

会場=ピッコロシアター中ホール

■おはなしBOX in 赤穂市

出演=風太郎、吉江麻樹、有川理沙
 技術=浜崎大介 制作=銭 大亮

日程=25.1.18

会場=赤穂市文化会館赤穂化成ハーモニーホール
 展示室

■写真版LLブック第5作

絵コンテ作成=風太郎 日程=25.3月～(発売)

■やんちゃんこ劇団第5回公演

『尼崎CATS』(キャッツ ポッサムおじさんの猫と付き合う方法より)

潤色・演出・振付=有川理沙 作曲=吉江麻樹

『あの世とこの世でシャバダバ』

作・演出=風太郎 作曲=吉江麻樹

日程=25.3.22～23

会場=尼崎市立中央北生涯学習プラザ大ホール

【災害と演劇を考えるシンポジウムに劇団員が登場】

1月5日、阪神・淡路大震災から30年の節目にあわせ、シンポジウム「災害と演劇を考えるー繋げる・繋がるためにー」をピッコロシアター中ホールで開催。劇団員の孫 高宏・森 好文・原 竹志が登場しました。

阪神・淡路大震災におけるピッコロ劇団の活動について振り返ったのち、宮城県仙台市、熊本県、石川県の各地域で先頭に立った演劇人が、災害時に演劇が果たした役割について報告。最後に「災害があったとき、演劇に携わる我々には何ができるのか」と題し、全国各地から集まった演劇人らと今後の体制作りなどについて活発な議論を交わしました。



株式会社ハーツ
 〒541-0056
 大阪府中央区久太郎町1-6-29
 TEL: 06-6265-2651
<https://www.heart-s.co.jp/>



シリーズ探訪 52 新たな探訪

昨年(2024)の10月に劇団部長を拝命しました。ピッコロ劇団創立30年の年、そして本年は阪神・淡路大震災から30年の年。この節目の年に劇団の要職に就けることをとても喜ばしく思います。実は私、その30年前の1994年にピッコロシアター業務部(劇団担当)の職員として、劇団発足準備から携わらせていただきました。稽古場(ピッコロシアター別館)は建物さえ変わりはしていませんが、昔と違って資材や荷物も増え、レイアウトも異なり、月日の流れを感じます。劇場もやはり、大ホールでの舞台と袖、楽屋、客席の匂い…嗅覚が身体に沁みついていきます。体感とは不思議なもので昨日のこのように当時の思い出が蘇ります。はい、毎日が探訪です。

探訪ついでに少しばかり懐かしい回想を…劇団発足時は「劇団部」という名称もなく、私は劇団担当職員としての「なんでも屋」さん。公演スタッフの肩書はなく、目の前にある業務を我武者羅に引き受けているような状態。稽古スケジュールを策定し、読みづらい手書き原稿をワープロで打ち直し、関わったこともない東京の大御所スタッフさんにご連絡し、使用楽曲の楽譜と歌詞を写し

ピッコロシアター 劇団部長 久次米 健太郎



1995年「風の中の街」舞台稽古風景(上段) 秋浜悟史 先生・森田守恒 先生(下段) 別役実 先生・藤原新平 先生・私

直し、客演の俳優さんの参加日程を確認する。当時はですね、パソコンはおろか、スマホだってメールだってないので、直接お電話かFAXでのやりとりで手間も時間もかかりました。合間を縫って稽古に立ち会い、稽古が終わると毎日飲み会に誘われ、客演の俳優さんにホテルまで連れて行かれ朝まで演劇談義。劇団員とは喧々囂々、侃々諤々。前例がないから毎日がルール作り、毎日が戦い、毎日が試行錯誤。そう、毎日が探訪でした。

今では、劇団員も増え、役割分担も明確になり、スタッフワークも充実。劇団員が自ら率先し劇団運営を進めてくれています。そして何よりも「劇団部」の優秀な制作スタッフが劇団ならびに劇団員を支えています。今日も新しい探訪が始まります。私は初心にかえって。

ピッコロ劇団・劇団員

劇団代表	岩松 了		
劇団員	孫 高宏	森 好文	亀井妙子
	森 万紀	吉江麻樹	眞山直則
	原 竹志	吉村祐樹	今井佐知子
	櫻村千晶	風太郎	岡田 力
	今仲ひろし	島守辰明	中川義文
	浜崎大介	野秋裕香	政香里沙
	三坂賢二郎	木之下由香	菅原ゆうき
	堀江勇氣	木村美憂	有川理沙
	鈴木あくり	谷口 遼	岡島大祐
	木下結美	中島深志	大澤寧音
	銭 大亮	中田綾乃	

ピッコロシアター・職員

館長	林 隆之		
副館長	石田勝則		
管理部	田路勝彦	酒井康裕	石井利幸
	山中彩希	櫻井豪樹	中西由香
業務部	梶原由美子	西岡宏季	古川知可子
	木屋村優花	有馬真帆	小西風光
	横山海大	丸尾絢子	足立浩一
劇団部	久次米健太郎	磯部 聡	新倉奈々子
	河東真未	山中麻由	

(2025年1月1日付)

編集後記

日本には四季があるから！って言えなくなってきましたね。秋なんてなかった…。季節がどんどんずれ込んで1000年後には春にセミが鳴いたり、秋に桜が咲いたりするんですね？ どうなってるんだろう… (りよ)

ピッコロシアターで働き始めて、1年が経ちました。あつという間の1年…今回からintoの担当になったので、さらに劇場を劇団を深く知って行きたいと思います。まだまだ学びの日々です。(山)

into (イントゥ)

かつて、私たちは壁を越えようとして、夢で出口を探していた。それは、確かに多くの新しい舞台が生まれる原動力となった。そして今、私たちは崩壊した壁の前で直感する。演劇を体温から捉え直すことから始めよう。その入り口がここにある。はからずも何かに出会い、そのことに夢中になるために。

兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター) 事業運営方針

兵庫県立尼崎青少年創造劇場は、青少年の自由な創造活動を促進し、あわせて県民文化の高揚を図るため、「音楽、演劇、舞踊等の創造活動」「コミュニケーションづくり」「創造活動のための鑑賞会・研究会等の開催」「音楽、演劇、舞踊等の調査研究資料の収集・提供」などを行う目的で、1978年(昭和53)に開設しました。これまで、「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の開設や、全国初の県立劇団「ピッコロ劇団」の創立・運営など、全国でも先進的な事業を行っています。

阪神・淡路大震災の経験もあって、芸術文化を人々の暮らしに欠かせない公共財としてとらえ、演劇を中心とした舞台芸術創造活動の活性化を図ると共に、多くの人たちの社会参加の機会をひらく社会的基盤として充実させるため、以下の運営方針のもとに事業を進めています。

1 上質な演劇を創造し発信します

- 専属のプロ劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」(1994年創立)を持つ演劇の拠点劇場として、全国の劇場と連携し、優れた舞台作品の創造・発信に取り組みます。
- ファミリー劇場や学校公演など、子供・青少年向けの作品を製作し、広く地域へ届けます。
- 関西の演劇人材を結集したプロデュース作品を製作し、関西の演劇創造の活性化を図ります。
- 全国各地から発信される優れた舞台芸術を紹介し、鑑賞の機会を提供します。

2 感動を共有できる“人と場”を育てます

- “観る”喜びと“創る”喜びを体感していただける開かれた劇場を目指します。
- 舞台芸術の専門知識を持った職員が常駐し、地域の舞台芸術の創造や表現活動を支援します。
- 「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」が、地域の芸術文化活動を支援する人材を育成します。
- 参加型のフェスティバルや実技教室、文化セミナーなど、舞台芸術の創造と交流の場を広げます。

3 演劇の力を活用して地域づくりを進めます

- 地域の文化資源の活用や、住民との協働による創造活動を促進し、地域の活性化に貢献します。
- 表現力やコミュニケーション力を育むワークショップの実施や、教育現場での演劇の活用など、地域の未来を担う人材育成に貢献します。
- 舞台芸術を通して、高齢者・障害者・子育て世代など、多様な方々の地域コミュニティへの参加促進に努めます。
- 「兵庫県立ピッコロ劇団」が、様々な地域に出かけ、舞台芸術や舞台創造の感動に触れられる場を広げます。

4 幅広い参画と協働のもとに取り組みを進めます

- 舞台芸術を支える多くの方々の参画のもと、行政・自治体・地域文化団体、大学等の教育機関、他の文化施設などとの協働を促進します。
- 阪神・淡路大震災時の経験を踏まえ、東北との連携をはじめとした広域的な交流を促進し、兵庫から全国へ広く舞台芸術の魅力を発信します。

TOTAL DESIGN & PRODUCT REALIZATION

■ 事業内容

各プロジェクトの企画・デザイン・設計・製作・施工・監理・運営・進行業務

- 展示 各種美術展/資料館/他

- 施設 テーマパーク/デパート/ショップ/ショールーム/他

- 景観 シンボルモニュメント/街並演出/他

- 催事 スポーツイベント/地域イベント/式典・コンベンション/博覧会/販売促進イベント/他

- 舞台 コンサート/ミュージカル/舞台機構/演劇/オペラ/ステージショー/他

- 映像 テレビ美術/CG/CM/映画/他

人が集う。感動を呼ぶ。
驚きがある。
そのすべてが
私たちの活躍の場です。

株式会社つむら工芸

一級建築士事務所

大阪/〒550-0003 大阪市西区京町堀2丁目12番24号
TEL.06-6448-2761 (代)

東京/〒105-0014 東京都港区芝2丁目2番14号(=2ビルディング)
TEL.03-6809-5222 (代)

工場/〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2丁目8番31号
TEL.072-654-0089

<http://www.tsumura-kogei.com>



総合建設業

〈関連事業〉カラタニエンジニアリング・トータルサプライ・
ゴジョー・デンマークハウス・柄谷倉庫物流・
昌平・昌永不動産



KARATANI

“IF”から“TRY”に。カラ タニ
株式会社 柄谷工務店

取締役社長 柄谷 順一郎



本 社 / 尼崎市玄番南之町4番地 電話 06(6415)2800(大代)
支 店 / 大阪・神戸
営業所 / 西宮・高砂・西播磨